

## キトラ古墳及び高松塚古墳の整備活用について

国立文化財機構古墳壁画PT保存活用班

## ○令和元年度報告（キトラ古墳）

## 1) 整備後墳丘の維持管理

## ・キトラ古墳墳丘法面植栽の経過観察

平成30年度、墳丘法面保護のため、下段に芝張りを施し、上段にササを補植した。その後の育成状況について、経過観察をおこなった。



平成31年3月補植直後



令和元年5月3日



令和元年5月31日（東から）



令和元年10月14日（東から）

下段・芝張り施工部は、時間の経過とともに良好に活着し、周辺地形と馴染みつつある。

上段・ササ補植部は、やや衰退傾向にある。根の横方向の伸長が芳しくなく、株の間において表土が流出しやすくなっている。現状は表面のバーク堆肥が少量動いている程度。北半部は刈込の基準高を少し高く設定し、葉を残す維持管理とする必要が考えられる。

## 2) 墳丘現地の活用

整備後の墳丘の活用のあり方について検討した。平成31年度に引き続き、下記「キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会」を活用のケーススタディとして実施した。

### ・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

奈良文化財研究所、国営飛鳥歴史公園（国営飛鳥歴史公園事務所＋公園財団飛鳥管理センター）共催で実施した。令和元年度は、3回（1回につき、午前・午後の2ターン）実施し、事前予約・当日参加受付を合わせて1ターンごとの定員を10名に設定した。とくに、秋・冬の2回は「乾拓彩色・キトラ古墳四神図をつくろう！」と題し、高精細写真を観察しながら水彩絵の具で自由に色付けしてもらった内容とした。

第1回 6月7日（金） 参加者：AM8人、PM5人

第2回 10月14日（月・祝） 参加者：AM5人、PM4人

第3回 2月13日（木） 参加者：AM2人、PM3人

## ○令和2年度計画

### 1) 整備後墳丘の維持管理

#### ・キトラ古墳墳丘法面植栽の経過観察

墳丘法面保護のため、下段に芝張りを施し、上段にササを補植した。その後の育成状況について、引き続き経過観察をおこなう。

### 2) 墳丘現地の活用

整備後の墳丘の活用のあり方について、検討を進める。

#### ・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

今まで、奈良文化財研究所・国営飛鳥歴史公園共催で実施してきたが、今年度は、感染症対策を講じながら遺跡の現地の理解を深めてもらう方法を検討する。

#### ・高松塚古墳壁画の乾拓板作成

いままでに、天井星宿図、青龍、白虎の乾拓板を作成したが、今年度は新たに、東壁男子群像・東壁女子群像・西壁女子群像・玄武の乾拓板を作成する。

### 3) 保存整備・活用に関する情報収集

高松塚古墳の今後の整備等に参考となる事例について、情報収集をおこなう。また、キトラ古墳については、上記の内容に加え、整備後の維持管理および遺跡の活用に関する情報収集をおこなう。